

移住者や移住予定者のための 沼津暮らし応援プロジェクト!!

計画
達成度
75%

団体データー
沼津未来クリエイティブ
代表者:原 清人
構成人数15名
活動歴3年3ヶ月
主な活動地:沼津市内
インスタ:[numazugurashi_yell_project](https://www.instagram.com/numazugurashi_yell_project)
Mail numazugarashi@gmail.com

事業目的 沼津に好意をもってもらい、移住の決断につながるようなきっかけとなる

沼津に移り住んでまもない人に対しては不安や寂しさを少しでも取り除き、1日も早く地域に馴染んでもらうことを目指す。沼津に移り住もうと考えている人に対しては、沼津という街に興味や好意を持ってもらい、移住の決断につながるようなきっかけとなることを目指す。

現状と目標 移住後のメンタルフォローと移住者の「つながる」をサポート

行政としての取り組みでは、沼津移住を促進するべく移住のための相談やガイドブック・イベント情報・不動産紹介・補助金活用など、移住考えている人々に対しての積極的アピールがほとんどである。反面、移住後の人々に対してのメンタル的なフォローまではできず、なおざりとなっている。この部分を課題と捉え、沼津に移住してきて間もない人たちがもつ不安・寂しさ・孤独感などに寄り添い、沼津での暮らしが少しでも心豊かに送れるような活動や手段を考えていきたい。



ヒアリングの様子

活動と成果 ぬまづで暮らすヒントになる本「沼住」を作成

沼津に移住してきた人たちにヒアリングを実施。このヒアリングをもとに、架空のキャラクターを登場させ、沼津という新しい土地で地元民や自然とふれあいながらも感じた驚きや喜びを体験していく4つのケーススタディの物語仕立ての冊子「沼住」を1000部作成した。完成した冊子はむやみやたらに設置や手渡しをせず、必要としている人たちに渡るよう口コミ・SNS・メディア取材時に伝えるようにした。成果として、ホテルや旅館、東京にある県の移住窓口の出先機関から、「沼住」を置きたいとの話をいただいたり、民間レベルでの県東部の市町の移住サポートネットワーク作りの構想が立ち上がるまでとなった。



振り返り課題 寄り添い方法の模索と「沼住」第二弾の制作

沼津を移住先として選び、自ら移住してきた人たちは、ある程度覚悟を持ってこの街に「馴染もう」「つながろう」と行動しているが、一方で結婚を機に、仕事の都合で、家族の事情により、など、否応なしに移住してくる人たちがいるのも事実。このような人たちに対しても、少しでも不安・寂しさ・孤独感が解消できるよう、寄り添う活動や手段を作り出していきたい。現在「沼住」を読んだ人たちからのフィードバックをいただいている最中であり、第二弾の「沼住」制作をはじめ、今後の活動の軸となるものをしっかり確立していきたい。また、移住者のためばかりでなく、移住サポートをする側とのつながりや関係性構築も進めていきたい。

移住者との関係性

